

II 流域下水道事業

流域下水道事業は、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質の保全に資するため、大東川処理区及び金倉川処理区の2処理区からなる中讃流域下水道を設置しており、中讃地区3市5町の流域関連公共下水道から汚水を受け入れ、県内2か所の浄化センターにおいて汚水処理を行っています。

今回は、令和6年10月1日から令和7年3月31日までの間(以下「令和6年度下半期」という。)における流域下水道事業の概況、予算、経理の状況及び令和7年度の予算の概要などについてお知らせします。

1 事業の概況

令和6年度下半期における流域関連公共下水道からの流入汚水量は、5,185,646 m³ (日量28,493 m³)で、前年度同期の流入汚水量5,280,897 m³ (日量28,857 m³)に比べ、95,251 m³ (日量364 m³)、1.8%の減となっています。

なお、各処理区の月別流入汚水量の比較は第1表のとおりです。

第1表 令和6年度・令和5年度下半期流入汚水量

(単位：m³、%)

区分		月別						
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度	大東川処理区	522,280	512,949	517,536	501,728	461,491	512,283	3,028,267
	金倉川処理区	378,235	373,456	367,546	354,391	321,853	361,898	2,157,379
	計	900,515	886,405	885,082	856,119	783,344	874,181	5,185,646
令和5年度	大東川処理区	515,941	507,742	524,479	512,201	504,764	549,093	3,114,220
	金倉川処理区	365,095	356,265	359,921	356,072	342,534	386,790	2,166,677
	計	881,036	864,007	884,400	868,273	847,298	935,883	5,280,897
差引	大東川処理区	6,339	5,207	△ 6,943	△ 10,473	△ 43,273	△ 36,810	△ 85,953
	金倉川処理区	13,140	17,191	7,625	△ 1,681	△ 20,681	△ 24,892	△ 9,298
	計	19,479	22,398	682	△ 12,154	△ 63,954	△ 61,702	△ 95,251
	増減率	2.2	2.6	0.1	△ 1.4	△ 7.5	△ 6.6	△ 1.8

2 経理の状況

令和6年度における収入及び支出の状況は第2表のとおりです。

第2表 令和6年度流域下水道事業会計経理状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円、%)

区分	科 目	予 算 額 A	前年度からの 繰 越 額 B	計 (A+B) C	執 行 (見込)額D	比 率 D / C
収 入	流域下水道事業収益	2,194,365	—	2,194,365	2,197,349	100.1
	営業収益	1,076,834	—	1,076,834	1,076,834	100.0
	営業外収益	1,117,531	—	1,117,531	1,120,515	100.3
	特別利益	0	—	0	0	—
支 出	流域下水道事業費用	2,176,179	—	2,176,179	2,137,320	98.2
	営業費用	2,139,307	—	2,139,307	2,100,492	98.2
	営業外費用	36,872	—	36,872	36,828	99.9
	特別損失	0	—	0	0	—

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円、%)

区分	科 目	予 算 額 A	前年度からの 繰 越 額 B	計 (A+B) C	執 行 (見込)額D	比 率 D / C
収 入	資本的収入	916,216	519,385	1,435,601	773,972	53.9
	企業債	193,000	108,800	301,800	164,400	54.5
	国庫補助金	478,400	316,565	794,965	409,507	51.5
	建設負担金	219,874	94,020	313,894	175,125	55.8
	他会計補助金	24,942	0	24,942	24,940	99.9
支 出	資本的支出	1,142,300	565,332	1,707,632	998,292	58.5
	建設改良費	916,489	565,332	1,481,821	772,483	52.1
	固定資産購入費	1,213	0	1,213	1,212	99.9
	企業債償還金	224,598	0	224,598	224,597	99.9

3 令和7年度当初予算の概要

令和7年度における収益的収入及び支出の予算額は、事業収益23億1,251万円に対し、事業費用22億9,848万円であり、収益的収支は1,403万円の黒字となっています。

次に、資本的収入及び支出については、支出16億9,813万円を予定しており、建設改良事業として14億8,180万円をもって浄化センター設備改築工事、幹線管渠耐震補強工事等を行うこととしています。

予算の概要は、第3表のとおりです。

第3表 令和7年度流域下水道事業会計予算

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円、%)

区分	科	目	令和7年度 当初予算額 A	令和6年度 当初予算額 B	増減額 (A - B) C	増減率 C / B
収 入	流域下水道事業	収益	2,312,518	2,172,907	139,611	6.4
	営業	収益	1,175,673	1,049,049	126,624	12.1
	営業外	収益	1,136,845	1,123,858	12,987	1.2
	特別	利益	0	0	0	0.0
支 出	流域下水道事業	費用	2,298,480	2,213,953	84,527	3.8
	営業	費用	2,257,535	2,178,389	79,146	3.6
	営業外	費用	40,945	35,564	5,381	15.1
	特別	損失	0	0	0	0.0

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円、%)

区分	科	目	令和7年度 当初予算額 A	令和6年度 当初予算額 B	増減額 (A - B) C	増減率 C / B
収 入	資本的	収入	1,481,692	1,386,008	95,684	6.9
	企業	債	358,200	297,400	60,800	20.4
	国庫	補助金	735,500	724,000	11,500	1.6
	建設	負担金	374,572	332,508	42,064	12.7
	他会計	補助金	13,420	32,100	△ 18,680	△ 58.2
支 出	資本的	支出	1,698,126	1,612,209	85,917	5.3
	建設	改良費	1,481,800	1,386,200	95,600	6.9
	固定	資産購入費	905	1,411	△ 506	△ 35.9
	企業	債償還金	215,421	224,598	△ 9,177	△ 4.1

4 事業の経営方針について

流域下水道事業を取り巻く経営環境は、人口減少に伴う流入汚水量の減少や、設備の老朽化に伴う更新需要の増大等により、今後、厳しさを増すことが予想されています。こうした中で、引き続き安定したサービスを提供していくためには、中長期的な視野に基づく計画的な経営に取り組み、徹底した効率化や経営健全化を行う必要があります。

そこで、流域下水道事業では、経営状況や資産等を正確に把握するため、令和2年4月から地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計に移行しています。

また、中長期的な視点から経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むため、「経営戦略」について令和7年3月に改定し、計画期間を令和6年度から15年度までの10年間にするなど変更を行いました。

経営戦略の基本方針

(1) 安定したサービスと環境保全

施設の適切な整備・管理と放流水の水質管理などによって、安定した水処理機能の確保と生物多様性などにも配慮した、美しく豊かな水環境の創出に取り組みます。

(2) 安全・安心の確保

災害に強い施設整備を進めるとともに、関係団体との連携強化やデジタル技術の活用などによって、下水道の利用に対する安全と安心を確保します。

(3) 経営の健全性向上

物価変動の影響を緩和する手段としてGXの推進や、汚水処理事業の共同化などで執行体制を強化し、官民連携事業の検討を含め、経営の健全性を高めます。

(4) 資産活用による社会貢献

下水処理場の敷地や事業活動を脱炭素化や資源循環につなげるとともに、地域の公共的な空間として利活用するなど、社会的要請に応じた事業価値の最大化を図ります。